

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 17 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h	20.7 °C	107.0 kPa abs	A系： 0.10	vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.07	vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	29.3 °C	8.93 kPa g	A系： 0.07	vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.07	vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	28.8 °C	0.23 kPa g	A系： 0.11	vol%
		給水系：約 5.3 m ³ /h			B系： 0.11	vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	11.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	10.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.0 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	12/17 10:20 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	12/12 17:45 ~ 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋	仮設タンク	12/17 10:00 ~ 15:00 移送実施

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	運転中	停止中	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*

* 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

A系：11/29 12:40～ 腐食対策有効性確認のために運転を停止中。

B系：制御系の改造工事を行うため 12/11 9:50 停止。12/13 17:22 運転再開。

なお、B系については、本年 12 月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

C系：制御系の改造工事を行うため 12/10 7:30 に停止。12/13 17:37 運転再開。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5. その他 >

- ・H25/11/28 3号機使用済燃料プール内にある大型瓦礫を撤去するための準備作業として同プール内に設置したオイルフェンスの設置状況を固定式監視装置(カメラ)にて確認。当該作業が終了したことから、同装置のカメラを引き上げたところ、同日 11:07 頃、南西側のカメラが過巻き上げ状態になり、カメラケーブルが切れ当該カメラ本体が水中に落下。当該カメラの重量(約 5.5kg)から、カメラ落下に伴う燃料の損傷等はないと考えている。水中カメラにて使用済燃料プール内を確認したところ、南西側の鉄筋瓦礫に落下したカメラヘッド部が引っかかった状態にあり、下側には多数の瓦礫が堆積していることを確認。なお、落下したカメラヘッド部については、鉄筋瓦礫とあわせて回収・撤去する。
その後、12/7 予備の固定式監視装置を設置したことから、12/17 14:40 から3号機使用済燃料プール内のガレキ撤去を開始。
- ・H25/12/17 海側遮水壁工事における係留装置(40tアンカー)回収作業のため、1～4号機取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を2回実施(12:40～13:30, 14:45～15:20)。
12/16 に予定していたが、強風の影響により延期したもの。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<タンクエリアパトロール実績(12/16)>

- ・高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

- ・12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/17 0:00時点で約6,400m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

12/16 に採取した1～4号機タービン建屋東側の地下水観測孔No. 0-3-2の汲み上げ水を測定した結果、全ベータが63,000Bq/Lと、前回の測定結果と比較して高い値を検出。

<地下水観測孔No. 0-3-2の測定結果>

(今回12/16採取分)

- ・セシウム134 : 検出限界値未満(検出限界値: 0.62 Bq/L)
- ・セシウム137 : 検出限界値未満(検出限界値: 0.64 Bq/L)
- ・全ベータ : 63,000 Bq/L

(前回12/13採取分: お知らせ済み)

- ・セシウム134 : 検出限界値未満(検出限界値: 0.41 Bq/L)
- ・セシウム137 : 検出限界値未満(検出限界値: 0.47 Bq/L)
- ・全ベータ : 検出限界値未満(検出限界値: 18 Bq/L)

地下水観測孔No. 0-3-2 近傍にある地下水観測孔No. 0-3-1 やNo. 0-1-2 において、12/15 に採取した全ベータは検出限界値未満であるとともに、12/16 にあわせて地下水観測孔No. 1-16 の汲み上げ水(全ベータ: 1,700,000Bq/L)を採取しており、その水が混入した可能性もあることから、12/17 に改めて地下水観測孔No. 0-3-2 の汲み上げ水を採取し、再測定を行う予定。

なお、地下水観測孔No. 1-16 の汲み上げ水については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・H25/12/3～8 2, 3号機東側に設置したウェルポイント（バキュームによる強制的な排水設備）からの地下水汲み上げ、2号機タービン建屋への移送について移送実施。
地下水の放射能濃度に変化が見られなかったことから、汲み上げ量を増やし、12/10から3日間、再度試験的な汲み上げを実施。今後計画的に移送を実施。
- ・H25/12/10～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 1-16の放射能濃度が上昇傾向にあることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/15～ 地下貯水槽 No.5において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/19～ 地下貯水槽 No.1において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/28～ 地下貯水槽 No.3において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/7～ 地下貯水槽 No.2において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/16～ 地下貯水槽 No.7において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上